

形 成 外 科

I プログラムの名称

慶應義塾大学病院 形成外科初期臨床研修プログラム

II プログラムの指導者

統括責任者

慶應義塾大学医学部形成外科学教室

教 室 主 任 貴志 和生 教授

研修医担当主任 酒井 成貴 助教

III 形成外科の概要・特徴・特色

慶應義塾大学病院卒後臨床研修センター

プライマリ・ケア医の養成をミニマム・リクワイアメントとする。

形成外科に配属された 1-3 名の研修医に対して、教授以下、准教授、講師、助教らのスタッフ全員が直接指導を行う。

<病棟診療、入院手術>

臨床経験 5-6 年の 2-3 名の病棟チーフ，ならびに臨床経験 3-4 年のレジデントと共にチームを組んで，原則的に全ての入院患者・手術患者の術前・術後管理，手術参加を行う。

<外来診療、外来手術>

原則として，入院患者の診療を基本とするが，適時外来診療（通常外来・特殊外来）の補助をする。外来手術にも適時参加する。

IV 到達目標

一般目標として、2 年間の初期臨床研修の中で、一般臨床医として基本となる考え方、臨床技術、治療を学ぶ。特に、プライマリ・ケアの場面で頻回に遭遇する形成外科的疾患にどのように対応し、検査・治療（外科的処置含めて）を進めるかという点を重視する。また、簡単な外科的処置法を会得する。

IV—① そのために以下の行動目標を行う。

(1) 患者—医師関係

- ・ 患者の社会的側面を配慮した意思決定ができる。
- ・ 守秘義務の徹底

(2) チーム医療

(3) 問題対応能力

(4) 安全管理*

(5) 医療面接*

- ・ 患者の的確な問診ができる。
- ・ コミュニケーションスキルの習得

(6) 症例呈示

(7) 診療計画

- ・ クリニカルパスの活用
- ・ リハビリテーション，在宅医療，介護を含めた総合的治療計画に参画できる。

(8) 医療の社会性

- ・ 医療保険制度
- ・ 社会福祉、在宅医療
- ・ 医の倫理
- ・ 麻薬の取り扱い
- ・ 文書の記録，管理について

形成外科においては一般の外科的研修のうち特に，創傷治癒の考えに基づいた創処置・縫合法と術後局所管理法，外傷（顔面・手指・熱傷）の診断・治療，褥瘡の管理・治療（保存・手術）などを担当する。

IV—② その中で経験目標として以下の事を行う。

A 基本的な診察法

- ・ 全身の観察ができ，記載できる。
- ・ 頭頸部の観察ができ，記載できる。
- ・ 骨・関節・筋肉系の診察ができ，記載できる。
- ・ 神経学的診察ができ，記載できる。
- ・ 小児の診察ができ，記載できる。

B 以下の検査の選択・指示ができ，結果を解釈することができる。

（他科の研修との重複事項は記載していない）

主に形成外科的疾患における，

- ・ 単純 X 線検査*
- ・ CT 検査*
- ・ MRI 検査*

C 以下の基本的治療行為，手技を自らできる。

（他科の研修との重複事項は記載していない）

- ・ 形成外科的な基本手術手技の修得
- ・ 形成外科で行う創の治癒方法の修得
- ・ ドレーン・チューブ類の管理
閉鎖式・開放式ドレーンなどのドレーン類の挿入と管理の基本
- ・ 局所麻酔法
特にエピネフリン添加の局所麻酔薬の使用法
- ・ 創部消毒とガーゼ交換
近年の創部消毒に対する概念の変化，dry dressing から wet dressing の最近の創処置法の推移，創に対する軟膏処置や創傷被覆材の使用などの外用療法
- ・ 簡単な切開・排膿
主に皮下軟部組織感染に対して
- ・ 皮膚縫合法
形成外科的な atraumatic な縫合法（形成外科的な器具・器材の使用法も含めて）の概念と実践，肥厚性瘢痕の予防と対策
- ・ 軽度の外傷・熱傷の処置

顔面・四肢外傷や小範囲熱傷の局所処置

- ・組織移植法（皮膚移植，皮弁移植，骨軟骨移植）の概略
- ・微小血管吻合の概略

D 経験すべき症状・病態・疾患

厚生労働省「臨床研修医の到達目標」の中で，主に下記の形成外科的症状・疾患

1. 緊急を要する症状・病態

- ・外傷
顔面骨・軟部組織外傷，手指外傷
- ・熱傷

（全身）・中～小範囲熱傷の（全身）・局所管理

2. 経験が求められる疾患・病態

- ・運動器（筋骨格）
 - 1) 骨折：顔面骨，手指骨
 - 2) 関節脱臼：顎関節
- ・物理・化学的因子による疾患
熱傷：主に局所管理と手術療法
- ・加齢と老化
老年症候群（褥瘡）：褥瘡の予防と管理・治療（保存的・手術）
- ・形成外科で取り扱う先天性外表形態異常：治療法の修得
- ・各種悪性腫瘍切除後の機能的形態的再建法

E 以下の件について専門家にコンサルテーションができる。

- ・様々な疾患の手術適応
- ・放射線治療
- ・リハビリテーション
- ・精神・身心医学的治療

V 研修方略

標準的な1日及び週間スケジュール

1. 病棟回診（創処置）：（毎日）AM8-AM9
2. 外来診療：（毎日）AM9-12
特殊外来：（火・水・木・金）PM1-PM3，（水）AM10-12
3. 入院手術：（火・水）AM9-PM5，（月・金・土）AM9-12
外来手術：（月・木）PM1-PM5

定期的に行なわれる教育関連研修

1. （火）PM5:30-：術前検討カンファレンス，主に研修医を対象とした勉強会・抄読会，研究進行カンファレンス，予演会（学会前に不定期に）
2. （木）PM5:30-：術後検討カンファレンス，主に上級医を対象とした抄読会，予演会（学会前に不定期に）

VI 研修評価

オンライン臨床教育評価システム（EPOC2：<https://epoc2.umin.ac.jp/epoc2.html>）にて、

評価票ⅠⅡⅢの研修医評価、指導医評価、メディカルスタッフ評価を実施する。経験すべき症候/疾病・病態を当診療科にて経験した場合は、病歴要約の提出を確認し、EPOC2にて承認を行う。2年間の研修修了時には、評価票ⅠⅡⅢの各評価がレベル3に到達するよう指導を行う。